

平成30年度

## コミュニティソーシャルワーカー（CSW）活動報告書

### 1. コミュニティソーシャルワーカー（CSW）とは

羽曳野市では、制度の狭間や複数の福祉課題をかかえるなど、既存の福祉サービスだけでは対応困難な事案の解決に取り組んでおり、羽曳野市地域福祉計画に基づき、地域における見守り・発見・サービスへのつなぎの役割を担うコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を市内に3名配置しています。

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の役割には大きくわけて、「個別支援活動」と「地域支援活動」の2つあります。

#### 「個別支援活動」とは

さまざまな福祉制度やサービスが充実している中でも、それらの網の目からもれて支援が必要な方の相談にのり、関係機関・団体や地域の方々とのつなぎを持ちながら問題解決に向けて当事者と共に歩んでいくこと。 ※具体例を2ページに記載。



#### 「地域支援活動」とは

地域で別々に活動している各種団体や、地域で何か活動してみたいと思っている市民をつなぎ、地域全体の福祉力を高めていくこと。 ※具体例を3ページに記載。



#### そして・・・

個別支援から見えてきた課題を、地域支援活動に活かし、また地域支援活動が個別支援活動に活かされるような循環システムをめざし取組みを進めています。

◆コミュニティソーシャルワーカー（CSW）は、高齢・障がい・子ども等の属性や分野に関係なく、支援の必要な人の相談に応じ、適切な支援に結びつけます。

関係機関・団体や地域の方とつなぎを持ちながら問題解決に向けて、当事者と共に歩んでいきます。

◆羽曳野市では校区福祉委員会の小地域ネットワーク活動に、行政・地域の医療や福祉専門機関・社会福祉協議会などが加わり協働して見守り、支援を行うしくみである「ふれあいネット雅び」の取り組みが充実してきています。

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）も「ふれあいネット雅び」の一員として、各種団体との関係づくりや地域全体の福祉力向上を目指しています。

## 2. 個別支援活動の事例（複合多問題ケース）

◆本事例のキーワード：生活困窮、介護保険、精神疾患、ひきこもり、社会的孤立

◆家族構成：3人世帯（70代 母、50代 長男、40代 長女）



◆ケース概要：

母

預貯金のほとんどをギャンブルに使ってしまい、生活困窮状態になる。借金もあり、精神的に追い詰められて幻覚、幻聴が発症。家庭生活が難しくなり医療保護入院を経て施設入所となる。

長男

精神疾患があり、20年以上一人で外出をしていない。ほとんどの時間ベッドの上で過ごしている。心療内科、内科に定期受診しているが一人では不可。

長女

長らく、母の家事手伝いをしており就労経験、交友関係が全くない。コミュニケーションは可能だが、説明された事の理解や申請などの手続きに、支援が必要。

◆関わった専門職：

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）

羽曳野市社会福祉協議会

羽曳野市役所

地域包括支援課、障害福祉課、生活福祉課

医療ソーシャルワーカー

ケアマネジャー

民生・児童委員



◆CSW が担った役割：

生活状況の見守り、本人たちと専門職との窓口、長男の通院同行、各種手続きの支援、必要な専門職との繋ぎ、情報のまとめと共有 等

長男と長女は生活経験が乏しく、説明の理解にやや困難さがあるため、専門職がそれぞれ関わると混乱される恐れがあった。窓口を一本化することで情報を整理して伝えることができた。

申請手続きができれば支援を開始できるが、そもそも手続きが困難なため、同行し説明をしながら手続きすることでスムーズに申請を行うことができた。

各専門職では行いにくい通院の同行や定期的な見守りを、CSW が補う形で担った。

### 3. 地域支援活動の事例（地域福祉専門職ネットワーク活動）

#### ◆専門領域を超えた包括的な相談支援体制の構築に向けて

羽曳野市では全ての市民が世代や背景を問わず安心して住み慣れた場所で生活し続けられるように、住民と行政、専門機関が協働し、制度と制度の狭間に落ち込む人を生み出さない重層的なネットワーク「ささえあいネットはびきの」の構築を推進しています。

住民にとって最も身近な地域として小学校区を基本とした第1層には「ふれあいネット雅び」によるネットワークを構築しています。住民組織と福祉職、行政職が、その小学校区に住む方々の課題解決を目指して話し合う場です。

第3層は羽曳野市全体を指し、新たな福祉サービスの開発や施策の検討など政策エリアとして機能しています。

そして、1層と3層の中間に位置する第2層では、CSWが中心となって様々な組織や機関、施設が協働できるネットワークの構築を目指しています。

それぞれ専門領域や得意分野がある一方で、活動の中では領域外の課題を発見することがあります。近年では福祉課題が複雑・多様化する中で、一つの専門領域で対応することが困難な事例も多数報告されています。

そのような事例に出会ったときに、一人で悩むのではなく、諦めるのではなく、その領域を専門とする誰かに繋げることができるよう「羽曳野市地域福祉専門職ネットワーク」の構築を進めています。一つの世帯でお困りになっている方が一人とは限りません。専門職同士がつながることで「個人単位」ではなく「世帯単位」、さらには「地域単位」の支援ができればと考えています。

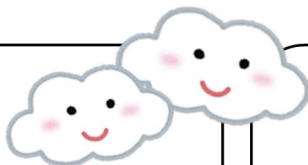
この取組みは全く新しいネットワークを作るというものではなく、これまで地域の専門職のみなさんが構築されてきた既存の多種多様なネットワークを、地域福祉専門職ネットワークで出会った専門職が活用（シェア）することで、それぞれのネットワークがさらに活性化され、重層的なセーフティネットが羽曳野市に張り巡らされることを目指しています。今後も地域の専門職・住民のみなさまと一緒に、羽曳野市民が安心して暮らし続けられる地域を作って行きたいと思えます。



ささえあいネットはびきの イメージ図

#### 4. 羽曳野市CSW 自己紹介

### 東エリア



#### 【駒ヶ谷・西浦東・古市・古市南・白鳥】

宍戸 俊一（ししど しゅんいち）

羽曳野市社会福祉協議会  
（☎958-2315）

#### （好きなもの）

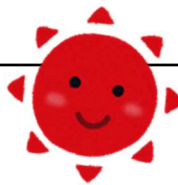
カラオケ・唐揚げとハイボール・食べ歩き

#### （趣味・特技）

特技は、人の話をじっくりと聴くこと！相談して下さる方の悩みにじっくりと耳を傾けます。

#### （仕事への思い）

まずは、相談を受け止めることを心掛けています。特技と繋がりますが、相談者の言葉に耳を傾け、何ができるかを考えて、共に解決していきます。



### 中エリア

#### 【埴生・埴生南・丹比・羽曳が丘・西浦】

西田 宏太郎（にしだ こうたろう）

四天王寺悲田院  
（☎957-3731）

#### （好きなもの）

おしゃべり・唐揚げとビール・ぶらり旅

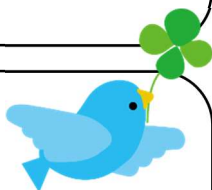
#### （趣味・特技）

特技はポジティブシンキング！  
「こんなにポジティブな人もいるんだね。」  
って言われたことがあります。

#### （仕事への思い）

フットワーク軽く動けるように心がけています。その方の価値観を大切に、ゆっくり関わられるようなワーカーを目指して頑張っています。

### 西エリア



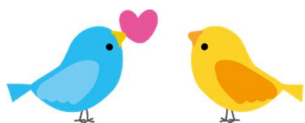
#### 【高鷲・高鷲北・高鷲南・恵我之荘】

大賀 典子（おおが のりこ）

羽曳野市社会福祉協議会 西部事務所  
（☎953-8067）

#### （好きなもの）

こころ許せる仲間・庵々のよもぎ麩・モンゴル800・安納芋・愛犬のあむチャン・コストコの肉を見る時・ヘルパーさんの作るミートソース



#### （仕事への思い）

どんな相談にも解決に向けて手立てを必死に考えるため、たくさんの専門職の方のお力を借りる努力は惜しみません。

#### 『羽曳野市コミュニティソーシャルワーカー活動報告書』

発行日： 2019（令和元）年 7月

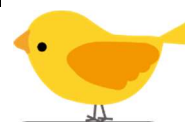
発行： 羽曳野市

編集： 羽曳野市CSW連絡会

【事務局】羽曳野市誉田4-1-1

羽曳野市役所 福祉総務課 地域福祉担当  
☎072-958-1111（1122）

インターネットで検索するには・・・



検索